

政務活動費収支報告書



令和 6 年 4 月 10 日

瑞穂町議会議長

山 崎 栄 様

議員名 下 野 義 子 

令和 5 年度政務活動費について、次のとおり収支報告します。

- | | | | | |
|---|---------|----------------|---------|----|
| 1 | 収 入 | （政務活動費交付額 金 | 120,000 | 円） |
| 2 | 支 出 | （政務活動費支出額 金 | 228,349 | 円） |
| 3 | 添 付 書 類 | 支出に係る領収書等の証拠書類 | | |

令和5年度 政務活動費 収支報告書

議員名： 下野 義子

1 収 入

項 目	金 額	説 明
政務活動費 (①)	120,000 円	当初交付金

2 支 出

項 目	金 額 ※1	説 明
調 査 研 究 費	126,069 円	支出内訳参照
研 修 費	2,000 円	
広 報 ・ 広 聴 費	円	
資 料 作 成 費	5,000 円	
資 料 購 入 費	95,280 円	
合 計 (②)	228,349 円	

差引金額 (①-②)	△ 108,349 円 ※2
------------	----------------

※1 使途項目ごとに集計の上記載してください。

※2 差引金額に残余が生じた場合は、この金額を返還してください。
(差引金額が△(マイナス)の場合は返還の必要はありません。)

支出内訳

項 目	適用及び内容 (視察の場合は日程及び場所を記入すること)	支払金額	備考
調査研究費	R5. 10. 26～27 福島県相馬市	22,900 円	
調査研究費	R6. 1. 22～24 愛媛県 八幡浜市・松山市	79,909 円	
調査研究費	R6. 2. 2～3 長野県伊那市	23,260 円	
研修費	R6. 2. 15「自殺対策オンライン 研修会」	2,000 円	
資料購入費	西多摩新聞	11,880 円	5940円×2
資料購入費	日本教育新聞	33,000 円	
資料購入費	読売新聞 R5. 4月～6月/R6. 1月～3月	24,000 円	
資料購入費	朝日新聞 R5. 7月～12月	26,400 円	
資料作成費	コピー機インク代	5,000 円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		228,349 円	

視 察 報 告 書

議員名 ： 下野 義子

1 期 間 ： 令和 5 年 10 月 26 日（木）～ 10 月 27 日（金）

2 参 加 者 ： 下野 義子

3 視察先及び視察項目

	都道府県名	市町村名・施設名	視察項目
[1]	福島県	相馬市	相馬双葉漁業協同組合・市場

4 視察報告

（1）選定理由

[1] 原発の処理水による風評被害の状況について現場の声を聞く

（2）視察内容

[1] 相馬双葉漁業協同組合において、水揚げの様子と、全ての品種でモニタリング検査をしている様子を視察。その後、現在の福島県の漁業の状況について話を伺った。大震災後にも地震に見舞われて漁港や市場が再度壊れて、現在も復旧中とのこと。処理水の話が起こらなくても、震災後、漁獲された全種についてモニタリング検査を継続している。令和4年度は99.9%不検出だったそうである。令和3年までは不検出の魚について試験操業を行っていたが、現在は本格操業に向けた移行期間として水揚げ拡大に取り組んでいる。風評については今後もモニタリング検査を実施して安全を示していくとのことであった。

（3）町にどのような提言ができるか

[1] 物品販売や啓発をイベントなどの機会に応じて支援活動を実施してはどうかと考える。

5 旅 費 :

月日	鉄道名(乗車経路)・ 宿泊場所	円 鉄 路	円 特 急	円 飛 行 機	円 車 両 (バス等)	円 レンタカー (借上料)	円 そ の 他	円 宿 泊 料
10/26	箱根ヶ崎 - 福島	5,170	3,530					
	旅館岬荘							5,500
10/27	福島 - 箱根ヶ崎	5,170	3,530					
小 計		10,340	7,060					5,500
		合 計 22,900 円						

6 交通費 : ガソリン代 円

有料道路通行料 円

駐車場代 円

計 円

7 手数料 : 円

8 保険料 : 円

9 資料代 : 円

10 その他 () : 円

総 合 計 22,900 円

視 察 報 告 書

議員名 : 下野 義子

1 期 間 : 令和 6 年 1 月 22 日 (月) ~ 1 月 24 日 (水)

2 参 加 者 : 小川 龍美 下野 義子 原 隆夫

3 視察先及び視察項目

	都道府県名	市町村名・施設名	視察項目
[1]	愛媛県	八幡浜市	道の駅みなとオアシス「八幡浜みなと」について
[2]	愛媛県	松山市	自主防災組織の活動と防災士養成事業について

4 視察報告

(1) 選定理由

- [1] 道の駅みなとオアシス「八幡浜みなと」は多くの自治体が視察を行っている事から、交流拠点の在り方について学ぶため。
- [2] 自主防災組織の活動と防災士養成事業が多くの自治体から着目されている事から、活発に行われている活動や人材育成の取り組みが、我が町の取り組みに生かせる点がないか学ぶため。

(2) 視察内容

- [1] 蜜柑の収穫量日本一を誇り、港での水揚げされた海産物もあるのに、多くが全国や料理屋などに出荷されて、市民が市内で購入する場がなかったことから、市民と市でそうした場を作ろうと 10 年を超える時間をかけて協議を進めてきた。一度は白紙状態になったが、市民の有志の粘り強い取り組みに支えられて、道の駅構想が実現。市内の特産品の販売だけでなく多くの開発商品や市内外の特産品の販売、交流できる施設、広場を設け、施設内の車の誘導を促す配置など工夫した道の駅となり、コロナ禍でも来客数が減らない交流の場となっている。広場では、一年を通して、市のイベントのみならず市民や各種団体の企画するイベントも盛んに行われていた。
- [2] 松山市では、阪神淡路大震災、東日本大震災を教訓として、自助、共助が重要であるとして、地域防災力の核となる「組織づくり」「人づくり」に取り組んでいた。市内の全自治会に自主防災組織を設置し、41 消防署管区ごとに地区を結成し、

し、統括機関を設立してネットワーク会議を定期的を開催して市全体で積極的に訓練、啓発活動に取り組んでいた。併せて、市では人と町を守り、地域防災の核となる防災リーダー養成を目的に、防災士の養成事業にも着手。地域の自主防災組織だけではなく幼稚園・保育所、小中学校のほか、一般企業にも防災士の養成が進んでいる。令和5年3月時点で8,000人を超える防災士が誕生し、活躍している。さらに、小学生から高齢者まですべての世代に防災リーダーを育成しようとそれぞれの年代に合った形で防災について学び、災害時に生かせる全世代型防災教育にも取り組んでいた。

(3) 町にどのような提言ができるか

- [1] 住民の熱い思いを行政がくみ取り、国だけでなく民間の資金も活用して施設整備を行っている。人を呼び込む工夫として、販売する物品も市内外から住民ニーズをとらえてそろえている。併設している交流館や広場も住民や各種団体が自由に工夫してイベントや交流に活用している。我が町も住民の発想をとらえ、民間の活用を視野に、拠点づくりに取り組むべき。特に、わが町は交通の地の利がある。これを最大限生かすべき。
- [2] 市の小学生から高齢者までをターゲットに、徹底した防災教育に取り組んでいる点は防災意識の向上に大いに役立つ。また、防災リーダーの育成は、地域防災組織の要となり、自主防災の活性化につながると考えられる。我が町も学校や地域と連携して防災教育から取り組み、併せて防災士の育成も進めるべき。

5 旅 費 :

月 日	鉄道名(乗車経路)・ 宿泊場所	円 鉄 路	円 特 急	円 飛 行 機	円 車 両 (バス等)	円 レンタカー (借上料)	円 そ の 他	円 宿 泊 料
1/22	箱根ヶ崎 - 羽田空港第2ビル	1,482						
	航空費・宿泊費(家族留)レンタカー						75,100	
1/24	羽田空港第2ビル - 箱根ヶ崎	1,482						
小 計		2,964					75,100	
		合 計 78,064 円						

6 交通費 : ガソリン代 695 円

有料道路通行料 434 円

駐車場代 716 円

計 1,845 円

7 手数料 : 円

8 保険料 : 円

9 資料代 : 円

10 その他 () : 円

総 合 計 79,909 円

視 察 報 告 書

議員名 : 下野 義子

1 期 間 : 令和 6 年 2 月 2 日 (金) ~ 2 月 3 日 (土)

2 参 加 者 : 小川龍美 下野 義子 原 隆夫

3 視察先及び視察項目

	都道府県名	市町村名・施設名	視察項目
[1]	長野県	伊那市伊那小学校	公開学習指導研究会

4 視察報告

(1) 選定理由

[1] 全国から、教職員、議員等が伊那小学校の学習指導研究会に参加している。
その特色ある学習の取り組みを研修するため。

(2) 視察内容

[1] 伊那小学校は「子どもは自ら求め、自ら決め出し、自ら動き出す力をもっている存在である」という子ども観に立ち、子どもたちの求めや願いから学習を発展していくことで、子ども自身に学ぶ力が育ち、主体的な学習が創造できると考え、総合学習・総合活動の中核に据えた教育課程を編成し、子どもと共に創り出す授業の実現を目指した研究実践を積み重ねている。その各学年の授業を自由参観。その後、研究発表。次に学年ごとの共同参観授業、6 年生の学習発表を参観し、最後に「はじめに子どもありき」と題した講演会を拝聴。

(3) 町にどのような提言ができるか

[1] 子どもの求めや願いを学習に発展させていく手法は、主体的、能動的な学習につながり、体験を通して大切な学習の基礎の積み上げになっていた。学ぶ楽しさあふれる授業であった。総合学習的な授業編成で、その効果が出ていた。我が町でも調べる学習、体験学習に取り組んでいるが、大きく視点を転換させた伊那小学校の取り組みを研究し、生かすことで町の取り組みが深まるものと考ええる。

5 旅 費 :

月日	鉄道名(乗車経路)・ 宿泊場所	円 鉄 路	円 特 急	円 飛 行 機	円 車 両 (バス等)	円 レンタカー (借上料)	円 そ の 他	円 宿 泊 料
2/2	JR箱根ヶ崎 - 伊那北	3,740	2,240					
2/3	ファインデイズホテル							7,300
2/3	JR伊那北 - 箱根ヶ崎	3,740	2,240					
小 計		7,480	4,480					7,300
		合 計 19,260 円						

6 交通費 : ガソリン代 円

有料道路通行料 円

駐車場代 円

計 円

7 手数料 : 円

8 保険料 : 円

9 資料代 : 円

10 その他(研修参加費) : 4,000 円

総 合 計 23,260 円

研 修 会 等 参 加 報 告 書

議員名 : 下野 義子

1 研修会名 : 自殺対策オンライン研修会（開催場所 オンライン ）

2 期 間 : 令和6年 2月15日（木）

3 参加者氏名 : 下野 義子

4 研修等の概要 : 厚生労働省の「地域自殺対策計画」策定・見直しの手引きを参考に、自殺の現状と自殺対策の動向について、子どもの自殺対策の政策的な枠組みについて講義を受けた。近年、自殺者数は減少傾向にあるが、子どもの自死は高止まりとなっていることに危機感を持って、リスクの早期発見、的確な対応及び要因を分析して子どもが自ら命を絶つようなことが無い社会の実現を目指す取り組みについて話を伺った。

5 旅 費 :

月日	鉄道名(乗車経路)・ 宿泊場所	円 鉄 路	円 特 急	円 飛 行 機	円 車 両 (バス等)	円 レンタカー (借上料)	円 そ の 他	円 宿 泊 料
小 計								
		合 計 円						

6 交通費 : ガソリン代 円

有料道路通行料 円

駐車場代 円

計 円

7 資料代 : 円

8 出席者負担金・会費 : 2,000 円

9 その他 : 円

総 合 計 2,000 円